



2025年7月7日

株式会社いなげや

「移動スーパーとくし丸 いなげや 21号車」 地元商店会の要請に応え全世代へお届け



株式会社いなげや(本社:東京都立川市、代表取締役社長:本杉 吉員)は、道路拡幅工事により商店街が生まれ変わる期間中のにぎわい創出のため、地元商店会からの要請を受け、「移動スーパーとくし丸 いなげや 21号車」が新たな場所への訪問を開始いたしますのでご案内申し上げます。

「移動スーパーとくし丸」はこれまで、主に高齢者様へのお買い物サポートを目的として事業を進めてまいりました。ですが昨今の社会情勢に鑑み、高齢者のみならず、小さなお子様を持つご家庭や様々な理由で外出が難しい方々など、幅広い世代に優しいお買い物環境をご提供してまいります。世代を超えた“街の身近なコミュニティストア”としてご利用いただくことで、地域住民のコミュニティ醸成のお手伝いも担ってまいります。

【「移動スーパーとくし丸 いなげや 21号車」による訪問概要】

1. 事業内容 販売委託契約を結んだ個人事業主が、冷蔵設備のある小型の特装車両に弊社店舗の商品を約400品目1200点ほど積み込み、訪問いたします。
2. 訪問場所 中野区立丸山塚公園 入口前(東京都中野区沼袋2-40付近)
3. 訪問日時 毎週木曜日 12:15頃から30分程度(道路事情等により前後する場合あり)

4. 訪問開始日 2025年7月10日(木)

5. 拠点店舗 いなげや下石神井店



【創業の精神を受け継ぐ】

明治33年(1900年)、弊社の創業者である猿渡波蔵は、大八車に野菜や干物、卵や農具などを載せ、東京・多摩地域で売り歩いていました。創業から117年後、大八車から軽トラックに乗り換え、商売の原点となる行商(移動スーパー)を再び始めることとなりました。

【買い物弱者の増加でニーズが高まる】

「買い物弱者」と言われる方々が全国に904万3,000人(2020年農水省調べ)も存在し、社会問題として深刻化しています。弊社商圈内においても、ご自宅近くの店舗に出向くことが困難な高齢者もいらっしゃり、日々の生活に支障をきたしてくる方々が増えると考えています。そこで弊社は、全国で1189台(2024年9月18日時点)が稼働中の移動スーパー とくし丸のビジネスモデルを導入し、今後益々高まる移動スーパーのニーズに対応してまいります。

【お買い物ができる楽しさを提供】

弊社は「移動スーパー とくし丸」を運行することにより、生活に必要な品物を「見て、聞いて、触って、感じて、選んで…」といったお買い物ができる楽しさを提供してまいります。

【“地域のお役立ち業”として貢献】

今後も台数を増やすことを計画しており、増加する買い物弱者に対して、日々の「食」を通じたインフラの役割を果たしてまいります。また定期的に訪問することで、単なる移動販売で終わることなく、地域の見守りといった“安全・安心”に貢献すべく各自治体と連携を図るなど、真の“お役立ち業”として取り組んでまいります。

弊社は「“地域のお役立ち業”として社会に貢献する」というビジョンを掲げております。とくし丸の活動を通じて、お客様の健康で豊かな食生活の実現に貢献してまいります。

<いなげや移動スーパーとくし丸 公式ホームページ>

<https://www.inageya.co.jp/tokushimaru/>